

ひ  
み

平成26年3月15日発行（毎年7月・10月・12月・3月発行）

春  
第124号

# わちあい

責任者 日下部阿氣子 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部  
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 3951-9941 Fax. 3951-9310



2月28日(金)～3月2日(日) 染の小道

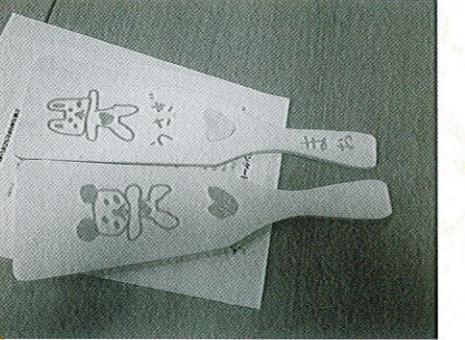
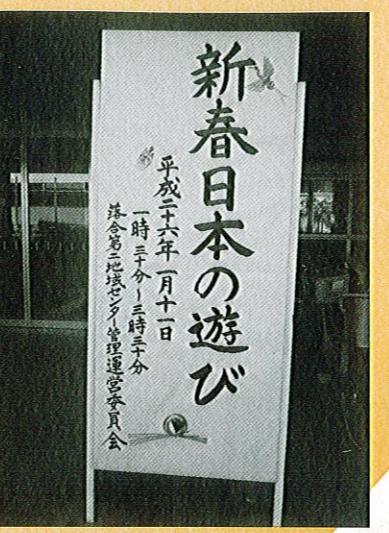
# 新春 日本の遊び



一月十一日（土）今年も日本の伝統的な正月遊び（かるた・百人一首・羽子板・けん玉・お手玉・引き独楽・福笑い）を、親子や友だちで楽しみました。

昨年好評だった、早乙女副所長も参加の山田流のお琴の生演奏が、今年も日本の正月ムードを盛り上げ、来場された中山区長も、それぞれのコーナーを廻り、楽しめました。

お汁粉やおみやげもあり、子ども達からも「もう終っちゃうの?」「もう少しやつてほしいな」という声が聞けたイベントとなりました。（一般入場者二百名、内約六割が子ども）



羽子板の絵つけ



受付…スタンプブラー



羽根つき



百人一首



区長とお手玉



福笑い



かるた



けん玉



お琴

## 十一月イベント お正月用リース飾り

十二月十四日（土）、先着三十名で洋風しめ縄リースに、リボン・造花などで飾り付けをしました。差し込む感じで飾り付けられたので、割と簡単にそれでいて可愛くて、おしゃれな見本通りの仕上がり具合に、満足の声が多く聞けた会場となりました。



## カラオケを楽しむ会（第十一回）

春のカラオケを楽しむ会が二月一日（土）、二組のキャンセルが出たものの二十八名（落二特別出張所長を含む）が参加して開催されました。

回を重ねても、初めて聞く曲名、歌手名が数曲あるのが聞き手の楽しみ處です。

今回も希望者全員で、集合写真を撮って終了しました。



## 文化講演会「お茶のおいしい入れ方」



三月一日（土）午後一時半～三時半

お茶の伊藤園の「ティーインスター」青木大氏を講師に招き開かれました。モチはモチ屋の例え通り、専門家の言う通りに入れてみると、同じお茶が確かに美味しいなくなっていました。

## 平成二十六年度の主なイベント

- 六月十四日（土）十五日（日）開館記念イベント
- 十一月十六日（日）センターまつり
- 平成二十七年一月十日（土）新春日本の遊び

## ◇赤い三角屋根の文化住宅―― 小さいおうち、はどこにあったのか

二〇一〇（平成二十二）年に直木賞を受賞した中島京子作『小さいおうち』。山田洋次監督によつて映画化されたのをご覧になつた方も多いのではないかでしょう。美術監督・出川三男氏の話から、映画では大田区雪ヶ谷辺りをモデルにしたことがわかりました。そこは一九二三（大正十二）年夏に洗足田園都市が分譲開始となつた地域に近く、東急電車が走り、目黒区・品川区・大田区にまたがる高級住宅街を形成していくのです。山田洋次氏が都立小山台高校（都立第八中学校）の出身であり、石川台駅近くに住んだことがあるそうで、そのイメージがあつたのでしよう。

作者の中島京子氏は対談で「東京の郊外というのは決めていましたけど、家が建ついた場所と恭一坊ちゃんが通つた学校は架空のものにしたんですね」と語っています。読者の想像力を幅を狭めてしまわぬようにという配慮だそうですが、作品全体が、昭和初期の婦人誌から受験雑誌、新聞から時刻表に至るまで、当時の資料に基づいてあまりにも丹念に取材されていました。場所についても追えば特定できそうな気になつてしまうのです。さて、文化村と称する十四棟の洋風住宅がモデルハウスとして展示されたのは同年、大正十二年三月。生活の改善は住宅の改良からを主旨として、

一方、原作の舞台は大田区ではなく、数カ所のイメージを合成させた架空のものになつたと思われます。



昭和12年新年特大号  
小学校にあがつた恭一坊ちゃんは、お友達の影響で『少年俱楽部』を購読するようになった。

「染の小道」  
友禅流しに似て、  
染物が晴れがましく川面に映ります  
染は水の芸術といわれます

広重の名所江戸百景の一つ「神田紺屋町」には浴衣干しの画が描かれています。紺屋から出た水は浅黄色をしていて神田川に合流していました。江戸を代表する浴衣、手ぬぐいの大半は紺屋町一帯で染められ、紺屋町以外のものは「場違い」と呼ばされました。染色は、友禅と型染めに分けられます。江戸幕府が開かれて京都からきた型染師が、江戸小紋、江戸更紗を始めたものと思われます。神田川の水は京都と異なるため、さびた深い色調が特徴となりました。明治になつて京都の友禅師が神田、日本橋、浅草に移り住んで来て東京での友禅染が始まります。彼ら京都四条派の写生模様には西洋感覚が入つていました（私の父は神田永富町で京都の友禅師を師匠として、友禅染色を行い私自身も身近に染色がありました）。

神田川の田島橋際に三越呉服店直営の「三越染工場」ができた頃から、染師たちは神田

川、妙正寺川を廻上するように早稲田、高田馬場、落合へと進出してきます。大正期の百貨店は、流行を取り込んだハイカラ趣味、おしゃれ感覚、落ち着いた高級品まで競つて展示しました。

戦後の混乱期を経て、染色業界は発展をめざしました。昭和二十三年には江戸小紋と江戸更紗、三十七年には手描き友禅の各染色協同組合が設立され、高度成長期には呉服問屋に商品が山積みにされ、業者が忙しく落合のまちを行き交う姿が見られました。しかし、バブルの崩壊は業界を直撃、伝統工芸のもう「用と美」、商品と芸術性を考えるきっかけになりました。

染師たちは妙正寺川に沿つて、中野、練馬、さらに郊外へと広がりましたが、現在でも落合は染の町として知られています。「染の落合」、妙正寺川は染色文化に大きな影響を与え、世に美と感動を与えていました。（西落合在住 野村晃）

## ◇女性最初の富士登山～高山たつ



日白文化村は関連冊子、本は落合第二地域センター、まちの資料コーナーにあります。

女性で最初に富士山頂に登山したのは落合の人だった。その人は身禄百年忌を祈念して身禄の四民平等と女性を尊重する思想を引き継ぎ、何としてもそれを実現したいと考えていた三志（埼玉県鳩ヶ谷出身）が吉田口御師を説得工作の結果、徳川家の御殿女中で宿下りした豪農の娘、たつ（二十五才、辰年辰の月、辰の日辰の刻生まれ）で、周辺農民の視線を恐れて、山閉じ後の天保三年（一八三二）旧歴九月二十六日（新暦十月二十日）に実施され、しかも男装の出で立ちであった。翌年、たつは上落合の高山家に嫁ぎ高山たつとなり、明治九年（一

## 参考「富士山と女人禁制」

※身禄 II 寛文十一（一六七二）年  
三重県伊勢の伊藤伊兵衛の行名。

十代で江戸に出て、富士行者（月行）の弟子となり、富士登山四十五度、中道めぐり三度の修業

をし、富士山七合五

勺の鳥帽子岩で三十  
一日間の断食をして  
死にました。（一七



物語では、旦那様の部下・板倉正治が、帝美へ通つていたころ下宿が近くにあつたとも言つています。上野の東京美術学校に対しても、帝国美術学校は中央線の吉祥寺にありましたから、阿佐ヶ谷から吉祥寺くらいまでのイメージで読むことができるかもしれません。しかし、池袋モンパルナスという芸術家たちのアトリエ付き住宅が豊島区の千早や長崎周辺に数多く存在したことを見ると、目白文化村で良いのかもしれない…。

駅を降りて細い坂道を上った高台に建つ洋風住宅――いくつもの「小さいおうち」がそれぞれの心にあつたとしたところに、昭和モダンの懷古趣味に浸るだけ終わらせず、質素な中にも上質の文化があつたことを教えてくれる作品は、これぞ文芸といえるでしょう。※映画『小さいおうち』で、黒木華さんがベルリン国際映画祭最優秀女優賞（銀熊賞）を受賞しました。（中落合在住 馬場尚子）



上野で開催された平和博（平和記念東京博覧会）でのことでした。この頃、東京には地方から流入してくる人が多く人口増加の一途をたどつていきました。さらに翌年の関東大震災で被災した人たちが比較的被害の少なかつた地を求めて、東京市外に西へ西へと郊外電車とともに延びていきます。そして、サラリーマンという職住分離の生活が定着するとともに宅地の開発は推進されていきました。洗足や田園調布のように田園都市開発という構想で造られたもの、成城や国立、大泉のように学園町として造られたもの、私たちの住む地域もまた、「目白文化村」の分譲地に重なりながら大半が隣接しており、コーサ文化村や中落合四丁目、文化村商店会といった名称が歴史を伝えてくれるのであります。

また、奥様から届いた葉書には、こちらまでは火も届かず、わたしたちは無事でした。旦那様は、田無あたりまで移つて農園でもやるかと言つてありますと書かれていました。

駅を降りて細い坂道を上った高台に建つ洋風住宅――いくつもの「小さいおうち」がそれぞれの心にあつたとしたところに、昭和モダンの懷古趣味に浸るだけ終わらせず、質素な中にも上質の文化があつたことを教えてくれる作品は、これぞ文芸といえるでしょう。※映画『小さいおうち』で、黒木華さんがベルリン国際映画祭最優秀女優賞（銀熊賞）を受賞しました。（中落合在住 馬場尚子）



## ★サロンサッカー大会結果報告

(会場 落合第二中学校)

落合第二地区青少年育成委員会主催のサロンサッカー大会が、昨年十二月八日(日)に開催されました。結果は次のとおりです。

### 低学年

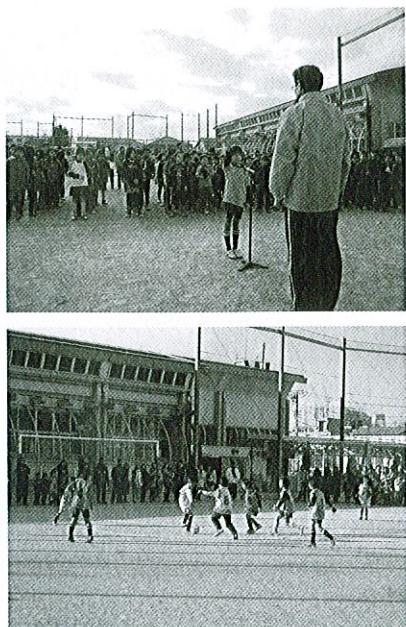
優勝 落六王様なめこ(落六小)  
準優勝 ジ・オーラ(落三小)

### 中学年

優勝 FC R3NKO IT2(落三小)  
準優勝 MISTY SKY(落三小)

### 高学年

優勝 チームじえり(落五小)  
準優勝 ヤングなでしこ(落三小)



## ★使用済み切手は眠っていませんか

落合第二特別出張所で使用済み切手を収集しています。使用済み切手は国際医療活動に役立ちます。ぜひ、使用済み切手の収集にご協力ください。

・海外の切手も受付けています。

・切手は台紙・消印を残したまま、周囲は大きめ(1cmくらいの余白)に切って下さい。

問合せ 新宿区社会福祉協議会

地域活動支援課

電話(5273) 9191

## ★落合第二地区協議会からのお知らせ

落合第二地区協議会では、落合第二地区町会連合会と落合第二地区青少年育成委員会、戸塚警察署、新宿消防署等のご協力により、「落合第二地区防災マップ、防犯・交通マップ」を作成しました。ご希望の方は、落合第二特別出張所までお問い合わせください。



防犯・交通マップ

## ご卒業おめでとうございます

平成25年度学校別卒業予定者数(2月5日現在)

学校名	人数	学校名	人数
落一小	62	落二中	105
落二小	52	落合中	78
落三小	72	新宿西戸山中	173
落四小	58		
落五小	13		
落六小	18		
計	275	計	356

## ★公募委員を募集します!

落合第二地域センター管理運営委員会と落合第二地区協議会の委員をそれぞれ募集します。応募方法等、詳細については下記までお問い合わせください。

### ☆落合第二地域センター管理運営委員会

落合第二地域センター(3951) 9941

落合第二地域センターの事業の企画や地域誌の編集などを行います。

### ☆落合第二地区協議会

落合第二特別出張所(3951) 9177

地域課題の解決に向けて取り組みます。

※二月十五日(土)に予定されていた親子ユニカール大会は、大雪の影響により中止となりました。

問合せ 落合第二特別出張所

電話(3951) 9177